

## 卒業証書授与式 式辞

満開の梅が馥郁と香り、中庭の木々が芽吹いて、新たな季節の到来を感じさせ、早春のこの佳き日に、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、茲に大阪府立牧野高等学校 第四十二回卒業証書授与式を挙行できますことは誠に慶びに堪えません。

只今、卒業証書を授与されました牧野高等学校 第四十二期、三百五十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。牧野高校を代表して、皆さんのご卒業を心からお祝いします。

保護者の皆さまには、新型コロナウイルス感染症に係る昨今の想定外の状況の中、本日、ご卒業の日を無事お迎えになられましたお喜びは、いかばかりかと拝察します。心よりお祝い申し上げますとともに、ご入学以来、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたことに、改めて感謝と御礼を

申し上げます。誠にありがとうございました。さて、卒業生の皆さん、皆さんは私が牧野高校に着任と同時に牧野高校に入学しました。即ち、私は皆さんの成長ぶりを三年間しっかりと見させてもらえました。多くは、学力を充実させる一方で、

初夏の輝く日差しの下での体育祭、文化系クラブの「かえる祭」、毎年三千人近くの来場者のある牧高祭など、牧高の学校行事で、皆さんは、三年生の最後まで十分に高校生活を楽しみ、充実させていました。体育祭で応援団長を務めた

四名は、リーダーとしての覚悟や苦勞を経験し、逞しくなったでしょう。三年生の最後の牧高祭は、準備の時間が限られていたにも拘らず、ミュージカルに挑戦したクラスもあり、各クラスとも、全てが素晴らしく立派な出来栄でした。

修学旅行では、東北地方の大自然や文化遺産、食の豊かさに触れ、安比高原での星空観察やオリエンテーリング、色々なアクティビティに加え、震災学習の中で語り部の方にお話を伺い、改めて家族の大切さを思い、涙を流し、海に向かって

全員で黙禱を捧げる時間もありました。

部活動では、男子バレーボール部が、大阪ベスト十六になり十三年ぶりに近畿大会出場を果たし、男子バスケットボール部は大きく躍進して、伝統的に強くなっている女子バスケットボール部と

ともに大阪ベスト十六になるなど、四十二期生の活躍には目を見張るものがありました。

一方で、この三年間で物事が思うように進まなかったり、「なかつたことにできればいい」と思うことがあったりした生徒もあるかもしれません。

私の好きな小説家のひとりである原田マハさんの小説の中に、次のような一節があります。「なかつたことにできればいい。そんなふうに思うことは、きつと誰にもあるよ、生きてれば。でもそうはいかないんだよ、あゆ。なかつたことには、

できない。それが生きてるってことなんだから。」ここに書かれているように、物事は、全てが思うようには進まないし、起きたことは、無かったことにはできない、というのが、生きるということの側面だろうとも思います。

ここにいる卒業生が牧野高校に通った三年間は、晴れの日や、雨の日、風の日があり、笑ったり、泣いたり、喜んだり、悲しんだりした様々な時間があったでしょう。そうした時を乗り越えて、それぞれが、かけがえのない個性を伸ばし、自分を成長させて、今日の卒業の日を迎えています。そのこと自体が立派であり、祝福すべきこと、祝福されるべきことだと思います。卒業生が皆、自信を持って未来に向かってほしいと願います。

さて、今、日本の政府が進めている「Society5.0」で予想される近未来のスマート社会では、AIやIoTの進歩で、ドローン宅配やAI家電、遠隔医療、無人トラクター、無人走行バスなどが描かれています。科学技術の大幅な進展で、世界が、今から大きく変化していくのは間違いないことでしょう。その中で、自分がどんな道を選んで進むか、他人が手を差し伸べてくれるのを待つのではなく、自分が自分の個性を活かして、自分の好きなこ

と、やりたいことを見つけ、どのような役割や使命を果たしていくのかがとても大切になります。高校までは教科書があり、知識を得ることがや答えのある問いに対して解答することが主でしたが、これからは、大学や専門学校等の高等教育機関や

実社会に出て、答えのない問題への対応の仕方を身につけ、実際に、解決していく必要があります。今まさに起きている新型コロナウイルス感染症のように、世界中の人が「なかつたことにしたい」けれども、「なかつたことにできない」ために、過去の経験や答えがない難題を解決すべく、多くの人たちが一生懸命に働き、対応しています。「過去と他人は変えることができないが、自分と未来は変えることができる。」私は常にそう信じています。

そして今、牧野高校の校長として願うのは、どんな世界になろうとも、四十二期生の一人一人が、自分に限度を設けず、自分の無限の可能性を信じて、未来を切り開いてほしいということです。

You can do anything you set your mind to.

The sky's the limit 「やろうと決めたら何でもできるさ。限界などないさ。」

限度など設けずに、"The sky's the limit."で、二十一世紀を生き抜いて欲しい。このことを卒業の饞に贈りたいと思います。

結びに、牧野高校は皆さんの母校として、いつも帰って来て話のできる学校でありたいと思っております。嬉しい時、苦しい時、また訪ねて下さい。最後になります。保護者の皆さまには、三年間牧野高校に温かいご支援を賜りましたことに、

心より御礼申し上げます。今後とも、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

令和二年三月二日

大阪府立牧野高等学校

校長 日 笠 賢